



第20回ねりんピックいばらき2007に 役員・監督・選手181人が参加

高齢者が主役のスポーツと文化の祭典「第20回全国健康福祉祭(ねりんピック) いばらき大会」が11月10日から13日までの四日間、茨城県内19市2町で「さわやかな長寿の風を 茨城に」をテーマに開催されました。本県からは、諏訪弘美県社会福祉協議会常務理事を団長に、スポーツ交流・ふれあいスポーツ交流・文化大会に22種目24チームが参加しました。



選手団は、鹿児島県庁で結団式を行い、剣道の下村典弘選手が「練習の成果を発揮し、精一杯プレーします」と決意を述べました。

10日のひたちなか市笠松運動公園開会式は、あいにくの雨のため、入場行進が中止となってしまいました。マスゲーム等は寒さに震えながらの観戦でしたが、茨城県在住の鹿児島県人会の方がたや潮来小学校の児童達が応援に駆けつけてくれ、交流を深めました。

翌日から種目別競技が始まりましたが、二日目も雨となりました。ソフトボールなど一部の試合が延期となりましたが、サッカーやマラソンなどは実施されました。

残念ながら実力を発揮できなかったチームもありましたが、選手全員がそれぞれ精一杯頑張ってくれました。

また、美術展では絵画・彫刻・書・工芸・写真等多岐に渡って展示され、洋画部門で鮫島恵美さんの「リサイクル」が銀賞を受賞されました。

そのほか関連イベントとして、ニュースポーツの紹介、各種相談コーナー、地域文化伝承館、健康



福祉機器展、フアッションショー、宮川泰夫・茂木健一郎・木の実ナナ・コシノヒロコ・宗像恒次氏らによるパネルディスカッションなど多彩な催しが行われ、参加した選手たちも競技の合間に見学・体験する姿も見られました。

音楽文化祭では、「長寿社会・私の主張」等コンクールの表彰式が行われ、そのあと第一部では「わくわくステージ」、第二部では「ゲストステージ」が行われ、「イロカ」が歌とトークで観客を魅了しました。

総合閉会式においては、次期開催の鹿児島市橋副知事が大会旗を引き継ぎ、篤姫や西郷隆盛、大

久保利通などの故郷である鹿児島をアピールしました。アトラクションでは、霧島市の霧島九面太鼓和奏(わかな)が、大型スクリーンに映し出される鹿児島県の観光地をバックに、見事な演奏を奏で、盛大な拍手を浴びました。壇上では、「さくらじまん」キャンペーンスタッフとともに『ねりんピック鹿児島』への参加を呼びかけました。

【主な成績】(敬称略)

(優勝) 水泳 河野 累子

(準優勝) 水泳 中村 一良
水泳 福重 澄雄

(第三位) 水泳 河野 累子

(第四位) 囲碁 大津久 英佐子

(第七位) ダンス 森口進・美那子ペア

(リーグ準優勝) サッカーチーム

(最高齢者賞) サッカー 丸山 嘉久
サッカー 藤島 桂子

(女性参加特別賞) サッカー 藤島 桂子

(審査員特別賞) 民謡 森山ユリ子

(敢闘賞) 弓道 小野 喜武